

第25号

工学部 工学科
知能情報工学コース
2年
愛知県立西尾東高等学校
(愛知県)



「ものづくり」の中の情報系へ

受験期は地元愛知県の工業系の国立大学を目指して勉強していました。ものづくり方面に進みたいと思った時に、自分は手先を動かすというより、情報系の作業が得意でした。そのため、工学部の中でも情報系の進路を探しました。共通テスト後に、富山大学が候補に挙がり、前期日程で受験し、進学することになりました。

念願の一人暮らしは寮生活でスタート

実家を出て一人暮らししてみたいという思いもありました。富山大学の学生寮に入寮することになりました。寮生活といってもワンルームの個室タイプで、かなり快適です。IHコンロ、冷蔵庫、電子レンジだけでなく、トイレもお風呂も部屋についています。寮で大変なことといえば、洗濯のコインランドリーです。電子決済ができません(泣)。普段現金を持ち歩かないのですが、小銭が必要です。100円玉をストックするために、まとめて両替しています。地元の愛知ではそんなに雪は降りません。東北の豪雪地帯のイメージで富山に来たものの、意外と降らないので平気でしたね。

ロボコンプロジェクト(PJ)に参加

工学部では実習の講義も1年生からあります。講義と一緒にになった修士1年の先輩がロボコンPJに参加していて、見に行かせてもらいました。今思えば、高校の時からロボットを作りたいと思っていました。いろんなサークルを見て回りましたが、一番ロボコンPJの活動が僕にとってしっくりきました。

大会への参加で見出した面白み

ロボコンPJに入り、この1年間で3つの大会に出場しました。一番メジャーなのはNHK学生ロボコンだと思いますが、そのほかにも8月のレスキューロボットコンテスト、キャチロボバトルコンテスト(「機械は人間の手を超えられるか?」がテーマ)、春ロボコンとそれぞれ難易度も趣旨も違います。どの大会も他大学のすごいロボットからの気づきも多く勉強になります。

制御部門のリーダーとして

2年次からは制御班(プログラミング担当)のリーダーとして、新入生への指導も担当しています。今年は1年生の人数も増えて、「ロボコン、面白そう」と思ってくれる人も増えてきています。制御班のリーダーとして、どうしたら新入生のモチベーションを保ちながらみんなうまく取り組んでいくか、日々試行錯誤しています。



ロボコンの本選出場に向けて

今の目標は一番著名なロボコンの大会「NHK学生ロボコン」の本選出場です。そのためどう戦略を立てるかが課題です。今年の大会が終わった時点で、すでに来年の6月のロボコンに向けてチームのみんなでお話合っています。

高校の後輩たちへ

大学進学がすべてだとはいえませんが、人生で一度くらい勉学に思いっきり励んでみるのも良いと思います。富山から、母校西尾東高校のみなさんを応援しています。